

特定非営利活動法人 日本機能性イオン協会

第 10 回 研究発表会

2011年11月 9日(水) 大田区産業プラザP i O A・B会議室

企画実行：日本機能性イオン協会 事業委員会

秋晴の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、東日本大震災に伴う福島第一原発の事故から、早や7ヶ月が過ぎましたが、復旧・復興に努力されるも未だに明るさを取り戻せない方々や各企業の皆様に早く元気を取り戻されることを協会としても祈願しつつ、このような環境下でも第10回標記研究発表会を、来る11月9日(水)の午後に東京の蒲田 P i oにて開催させていただくことになりました。

今年度の研究発表会は、10年目の節目にも当り、「機能性イオン」と何らかの関係をお持ちの方々と一緒に会し、交流を深める場にしていただきたいと思います。

また、“機能性イオン”も今回の震災とも学問的なつながりや関連があり、国民的関心事の一つだと考えています。

そこで、基調講演として「ホルミシス効果」についてのご講演を、ホロス松戸クリニック院長 医学博士 村上信行先生に、研究発表には、機能性イオンの原点を見直し、幅広くイオンの測定技術から、機能性イオンの特性やその応用研究までをテーマとして、それぞれの専門家から発表していただきますと同時に、展示会も開催しますので、分野を越えて意見交換、交流を深める場として活発な討議を期待しています。

多数の皆様のご参加をお願いすると共に、皆様にとりまして本協会にとりまして有意義な研究発表会となりますことを心から願っています。

特定非営利活動法人 日本機能性イオン協会
理事長 浅田敏勝

・ 日時：平成23年11月 9日(水) ・ 会場：大田区産業プラザP i O A・B会議室(1F)

研究発表 13:00~16:50

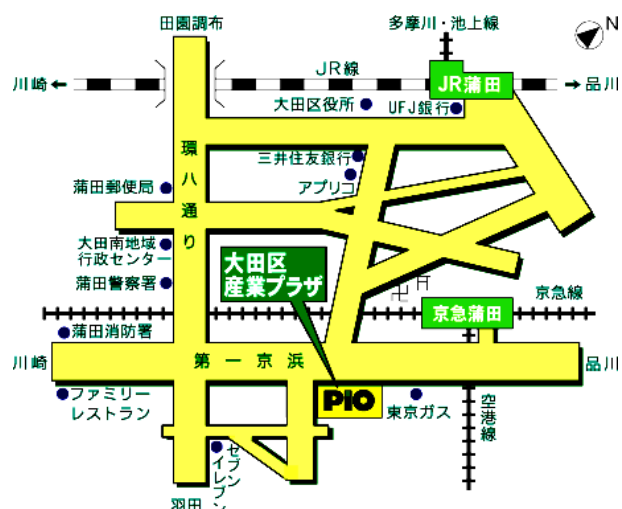
懇親会 17:00~18:30

TEL: 03-3733-6600

大田区南蒲田1-20-20

京浜急行線「蒲田駅」より徒歩4分

1. 京急蒲田駅で降り、東口改札を出て右の階段で地上へ上がります。
2. 正面の道路(国道15号線、通称：第一京浜)を、右側(川崎方面)に向かって歩き、京浜急行空港線の踏切を渡ります。
3. 一つ目の信号(「京急蒲田駅前」交差点)を渡った正面の建物です。



	13:00	開 会 宣 言
研 究 発 表 会	13:05 13:35	<p align="center">“クリーンルームにおける静電気障害と空気イオンによるその対策”</p> <p align="center">(株)テクノ菱和 鈴木 政典 氏</p> <p>フィルム製造及び液晶ディスプレイ製造等のクリーンルームにおいて、静電気帯電による塵埃の吸着や静電気放電による電気回路パターンへの損傷等の静電気障害が製品不良を引き起こし、大きな問題になっている。本報では、まず、静電気の発生メカニズムとクリーンルームにおける静電気障害について述べ、次に、その対策の一つとして、空気イオンにより静電気を中和除去するクリーンルーム用イオナイザーを紹介する。</p>
	13:35 14:05	<p align="center">“ 空気汚染源の空気イオン特性とその挙動に関する研究”</p> <p align="center">仁木マシナリー(株) 仁木 隆志 氏 元福井工業大学 浅田 敏勝 氏</p> <p>生活環境の空気質を汚染する代表的な空気汚染源として ①自動車排気ガス ②発がん性物質を含み身体に悪影響を与えるタバコの副流煙 ③工業用の主要な工程である溶接時のフェームをとり上げ、空気汚染源の空気イオンの特性とその挙動についての研究を行ったので報告する。</p>
	14:05 14:35	<p align="center">“JIS-B-9929 に基づいた空気イオンの測定方法と測定器の必要条件について ”</p> <p align="center">フィーサ(株) 斎藤 進 氏</p> <p>JIS-B-9929 に基づいた空気イオン測定の実績からくる課題について説明し、自然環境測定の事例を紹介し、我々の生活にとって効果的な良好なイオン環境とは何かについて提案します。なお、新製品情報として「針を使わないイオン発生デバイス」を紹介し、また展示会場で空気イオンの実測・実演も併せ行います。</p>
	14:35 15:05	<p align="center">“ローズテクニークの人体への負電位負荷が自律神経に及ぼす効果”</p> <p align="center">玉川大学 寺沢 充夫 氏、相原 威 氏 立正大学 大井 晴策 氏 (株)京都西川 古家 弘巳 氏、 松島 司 氏</p> <p>京都西川製のマットを使用し、ハートリズムスキャナーを用い、心拍変動の周波数成分のパワー値を計測した。以上の結果から、人体の負電位負荷は副交感神経を活発にし、交感神経の緊張を緩和し、疲労回復や免疫機能の向上が示唆された。</p>
	15:05-15:25	休 憩 ～ 展 示 会 ～
基 調 講 演	15:25 16:45	<p align="center">「放射線ホルミシス療法のエビデンスと今後の可能性」 について</p> <p align="center">ホロス松戸クリニック院長 医学博士 村上 信行 氏</p> <p>放射線ホルミシスの近年の研究の変遷についてレビューをし、現在行われているホルミシス療法の現状と今後の可能性について取り上げる。</p> <p>1982年にトーマス・ラッキー氏が、低線量の放射線は生体にとって生理活性の働きがあることを示したことから、日本の研究者をはじめ世界中の放射線研究者が関心を示し、ホルミシスの研究がなされてきた。殊に最近では世界的な権威が放射線分子生物学的な立場から、放射線が遺伝子に与える影響について、かなりな線量においても発がんの可能性がないという論文がRadiologyで発表をしたことから物議をかもしだしている。</p> <p>現在臨床の現場でホルミシスを治療の技法として取り入れている医師が増えつつあり、その効果が期待されている。また民間レベルでも、ホルミシスルームなどを用いた健康増進の施設の運営がなされており、それなりの成果を出している。</p> <p>放射線ホルミシスについて、医学的により効果を上げるためには、現在よりも高い線量が得られる環境を設定する必要があると考えられ、その方法について紹介する。</p> <p>また、民間レベルではホルミシスルームをはじめ、いくつかのアイテムが開発されているので紹介したい。</p>
	16:45	閉 会 宣 言

参加費 一般 ￥10,000-

会 員 ￥ 5,000-

懇親会 ￥ 5,000-

17:00 より4F コルネットにて、懇親会を開催致します。

情報交換や名刺交換など 御交流の場として ふるってご参加下さい。

＜ 申込要領 ＞

下記申込み用紙にご記入の上、FAX又は郵送にて日本機能性イオン協会事務局にお申込み下さい。
参加費は下記口座へお振込み下さい。お申込み・お振込みの締切りは **11月4日(金)**です。
申込み者御本人が欠席される場合の返金は致しませんので御了承下さい。その場合、代理の方が参加頂いても結構です。お申込みは受付順となりますが、満席の場合はお断りすることがございます。

振込先

三菱東京UFJ銀行 江坂駅前支店 普通0994311 口座名：日本機能性イオン協会
郵便局総合口座 記号14020 番号28781471 口座名：日本機能性イオン協会

第10回 研究発表会 参加申込書

FAX No.

06-4809-4099

参加企業名		TEL	
〒 御住所		FAX	
参加費(税込み)	参加人数	小計	参加者名
一般	10,000	人	
会 員	5,000	人	
懇 親 会	5,000	人	
展 示	10,000	台	
お振込み合計金額 : ￥ _____ (振込手数料は御負担下さい)			請求書 領収書 (要・不要) (要・不要)

上記御住所に当協会のご案内をお送りさせて頂くことがあります、個人情報には法令に基づき厳重に保管させて頂きます

特定非営利
活動法人

日本機能性イオン協会

JAPAN ASSOCIATION OF ION

大阪市東淀川区東中島1-19-11 大城ビル5F



RESEARCH AND APPLICATION

tel:06-4809-4098 fax:06-4809-4099